

第13回 高崎学検定

令和7年10月18日(土)



— 問題と解説 —

問 1

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

榛名山の山麓には榛名山の噴火に伴う火砕流や山体崩落に伴う大規模な扇状地が下図のように形成されています。

【ア】は2万年前～1万5千年前頃の山体崩落を中心に形成された広大な扇状地で、市域では箕郷地域東部から群馬地域、高崎地域北部に広がっています。白川扇状地は【イ】の榛名山の噴火に伴う火砕流堆積物で形成され、扇頂部は箕郷町西明屋で、箕郷地域から高崎地域北西部を中心に広がっています。十文字台地や上室田台地は榛名地域を中心に広がり、【ウ】年前の頃の榛名山の噴火に伴う室田火砕流堆積物で形成された扇状地の一つです。



- ア (1) 生原扇状地 (2) 柏木沢扇状地
(3) 金古扇状地 (4) 相馬ヶ原扇状地

[正解 4]

- イ (1) 縄文時代 (2) 弥生時代
(3) 古墳時代 (4) 江戸時代

[正解 3]

- ウ (1) 5万 (2) 5000 (3) 1700 (4) 900

[正解 1]

●解説

相馬ヶ原扇状地は榛名山相馬岳付近に形成された溶岩円頂丘が大きく崩壊することによって形成された広大な扇状地で、その末端は高崎地域北部にまで及んでいます。

白川扇状地は古墳時代の榛名山の噴火に伴う火砕流堆積物で形成され、下芝谷ツ古墳（市指定史跡）などはこの火砕流堆積物で埋まったものです。

十文字台地や上室田台地は5万年前の頃の榛名山の噴火に伴う室田火砕流堆積物で形成された扇状地です。

このように、榛名山の山麓には、火山活動などに伴う土石流や山体崩落で形成された扇状地が形成されています。

問2

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

井野川右岸の高崎情報団地Ⅱ遺跡(大類地区)で出土した浅鉢形土器(市重要文化財・下の写真)は口径約33.2センチメートル、容積8.0リットルの大きな彩色鉢です。

【ア】のもので漆により黒く塗った後、赤彩による波状紋が施されています。

古来より赤は【イ】の意味があると言われます。江戸時代後期に作り始めた「高崎だるま」の赤い色もそのためだと考えられます。

ア (1) 縄文時代 (2) 弥生時代 (3) 古墳時代 (4) 奈良時代
〔正解 1〕

イ (1) 子孫繁栄 (2) 五穀豊穰 (3) 魔除け (4) 不老長寿
〔正解 3〕



浅鉢形土器

●解説

井野川の右岸(南岸)にある高崎情報団地Ⅱ遺跡(中大類町、宿大類町)で出土した浅鉢形土器(市重要文化財)は口径約33.2センチメートル、容積8.0リットルの大きな彩色鉢です。今から約5千年前のもので黒色の漆をベースに波状紋の大胆なデザインの赤色のベンガラが塗られています。

古来より赤く塗ることは「魔除け」の意味があると言われており、高崎だるまの赤い色もそのためだという説もあります。ちなみに酸化第二鉄から生成される赤色塗料のベンガラはインドのベンガル地方が由来で、「ベンガル」が「ベンガラ」になまったと言われています。

問3

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎市街の西方に続く標高約200メートルの一带は、新第三紀に海の底に堆積してできた地層が隆起した丘陵で、岩野谷丘陵(観音山丘陵)と呼ばれます。丘陵は全体的に河川による開析が進んでいるため、幅の狭い稜線や傾斜が厳しい急崖も多くあり、その河川の一つ【ア】によって開析された川沿いに【イ】と呼ばれる、岩陰状(オーバーハング)の場所があります。戦に敗れた武士が潜んだとか、天明の浅間山大噴火のときには多くの村人が降灰を避けて避難したとの言い伝えがあります。

ア (1) 荒久沢川 (2) 碓氷川 (3) 雁行川 (4) 見立川
〔正解 3〕

イ (1) 蛙の岩屋 (2) 崖屋敷 (3) 千人隠れ (4) 百畳敷
〔正解 3〕

●解説

高崎中心市街地から西方に見える丘陵は古くから観音山と呼ばれてきました。ただ、観音山という地理上の名前はありません。この丘陵は新第三紀(2300万年前から260万年前)に海の底に堆積してできた地層が隆起してできました。丘陵の標高は190から220メートル、平地が95メートル前後なので標高差は100から130メートルですが、幅の狭い稜

線状の丘陵のため傾斜が厳しく急崖が多く見られます。乗附・石原・寺尾方面の平地に向けて10本ほどの河川が流れ細い谷を造っており、そのうち、寺尾町と吉井町下奥平の間を流れる雁行川によって開析され、雨が当たらないような岩陰状（オーバーハング）の場所があります。いつしか「千人隠れ」と呼ばれ、戦に敗れた武士の一団が隠れたとか、天明の浅間山の大噴火のときには多くの村人が降灰を避けて避難したとの言い伝えがあります。昭和30年代頃までは、この辺りは子どもたちが貝類の化石などを探しに来る格好の場所でした。

問 4

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

岩野谷丘陵（観音山丘陵）は山林資源の宝庫であり、古代以来、粘土（陶土）、木材、石材などを産出してきました。こうした豊富な山林資源を有することを背景に、奈良時代になると丘陵南部の山部郷は【ア】の食封に設定されました。【ア】は、全国の他の3か所の食封も含めた税収を元に寺を運営しました。

中世になると石塔などにこの丘陵から産出する石材も使われ、さらに近代以降は【イ】が採掘されました。

ア（1）延暦寺 （2）金剛峯寺 （3）善光寺 （4）法隆寺
〔正解 4〕

イ（1）亜炭 （2）硫黄 （3）ガス （4）石油
〔正解 1〕

●解説

岩野谷丘陵（観音山丘陵）は山林資源の宝庫であり、古代以来、粘土（陶土）、木材、石材などを産出してきました。この丘陵から産出する石材の凝灰岩は古墳の石棺や石室などにも用いられ、約15キロメートル北の保渡田古墳群の石棺にも使われました。また、中世になると五輪塔などの石塔にも用いられました。近代以降は亜炭が採掘されたように、長期間にわたって様々な資源が産出された場所でした。

問 5

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

日高遺跡は、【ア】の建設にともなって発見された弥生時代後期の遺跡です。溝で囲まれた集落・【イ】・周溝墓しゅうこうぼが組み合わさって発掘されており、弥生時代社会の構成要素を知ることができます。遺跡は水源地にあり、湧水を小さな池に溜め、温めてから【イ】に引き込む工夫が見られます。出土品としては、たくさんの土器、木製品のほか、農耕に関わる【ウ】が知られます。現在、史跡整備が進み、広大な公園として地域住民に親しまれています。

- ア (1) 上越新幹線 (2) 関越自動車道
(3) 運動公園 (4) 西毛広域幹線道路

〔正解 2〕

- イ (1) 祭殿 (2) 環状列石 (3) 水田 (4) 倉庫群

〔正解 3〕

- ウ (1) 鉄製農具 (2) 馬鍬 (3) 銅鐸 (4) 炭化米

〔正解 4〕

●解説

日高遺跡は、1977年に関越自動車道の建設に先立つ発掘調査で見つかりました。当時、日本最北限の弥生時代の水田跡が発見され、大いに注目されました。その後の調査で墓（方形周溝墓・円形周溝墓）や環濠集落も見つかり、ムラ・耕地・墓がセットで判明した重要な遺跡として1989年に国史跡となりました。

現在は、土地が買い上げられて史跡の整備が進み、環濠や水田が復元されました。また、広場やトイレ、休憩施設も整っています。地元住民で発足した「日高遺跡をともに楽しむ会」が、復元された水田で赤米づくりを行い、参加した市民が稲作体験を楽しんでいます。

問 6

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

倉賀野町に所在する浅間山古墳は、墳丘長が172メートルの巨大な前方後円墳です。古墳時代【ア】においては東日本最大の規模を誇ります。墳丘周囲には、広大な二重の濠を巡らし、濠の間にある中堤の斜面からは【イ】が見つかりました。中堤に【イ】が備わった古墳は東日本では数例しかなく、本古墳被葬者の強大さを示しています。古墳の立地からみると被葬者は【ウ】を押さえ、ヤマト王権と密接に関係を結んだと考えられます。

- ア (1) 前期 (2) 中期 (3) 後期 (4) 終末期
 [正解 1]
- イ (1) 人物埴輪 (2) 葺石 (3) 柵列 (4) 土嚢積み
 [正解 2]
- ウ (1) 鉾山 (2) 牧 (3) 霊場 (4) 水運
 [正解 4]

●解説

浅間山古墳は、4世紀後半に築造された巨大な前方後円墳です。墳丘長は172メートルもあり、古墳時代前期(3世紀中頃～4世紀)において東日本最大の前方後円墳でした。また墳丘の周囲に、広大な二重の周濠を備えています。二重周濠は、ヤマト地域で4世紀後半から造られ始めますが、浅間山古墳はそれをいち早く取り入れています。

墳丘の形は、大王墓とも目される奈良県奈良市の佐紀陵山古墳(墳長207メートル)と同型で、ヤマト王権の有力な同盟者だったと考えられます。古墳がある倉賀野町は、明治時代の初期まで利根川水運の最上流域の港(倉賀野河岸)として栄えました。浅間山古墳の被葬者も利根川や荒川水運を差配し、水上交通で近畿地方と交流していたと推定されます。

問 7

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

元島名将軍塚古墳は4世紀初頭に造られた群馬県でも最古級の古墳です。

この古墳を築いた集団は【ア】という古墳の形や、葬礼に使われたと思われる壺などから、【イ】から移住してきた人々ではないかと言われています。

また、彼らは太平洋伝いに進み利根川などを遡上して移住したのではないかとも考えられています。

- ア (1) 帆立貝形古墳 (2) 方墳
(3) 前方後方墳 (4) 前方後円墳

〔正解 3〕

- イ (1) 北陸地方 (2) 大和地方 (3) 東北地方 (4) 東海地方

〔正解 4〕

●解説

高崎市元島名町にある元島名将軍塚古墳は、関越自動車道の南、高崎市立高南中学校の北西に位置する前方後方墳で、群馬県でも最古級の古墳です。

古墳前方部には、後世に作られた島名神社しまながあります。1911(明治44)年に、島名神社の社殿工事に伴う掘削で、後方部の地下2.1メートルに粘土が確認され、槨内から獣形鏡1、石釧1などの遺物いしくしろが出土しました。それらは東京国立博物館(当時は帝室博物館)に寄贈されました。

1980年には、土地改良事業に伴い高崎市教育委員会による周堀部分しゅうぼりの調査が行われました。墳丘裾部から底部穿孔壺などの土器群が出土しており、当初、墳頂部に設置されていたものが転落したのではないかと考えられています。

また、この底部穿孔壺の形は「パレススタイル土器」とも呼ばれ、東海地方西部のものに形がよく似ています。このことから、この古墳の被葬者やそれを支えた人々は、東海地方にルーツを持つ集団ではないかと考えられています。

問 8

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

漆山古墳は、下佐野町の烏川東岸の段丘上に築かれた前方後円墳です。墳丘の長さは現状で約60メートルです。築造されたのは【ア】で、その埋葬施設は山名町で産出する【イ】を加工して積み上げた横穴式石室です。この古墳が属している下佐野古墳群では、4世紀から5世紀にかけてたくさんの古墳が造られましたが、その後衰退し、【ア】の時期に再び漆山古墳が築かれることで復活します。このため本古墳の被葬者は、この頃に成立した【ウ】の経営者であったと推定されています。

- ア (1) 6世紀前半 (2) 6世紀後半
 (3) 7世紀前半 (4) 7世紀後半

[正解 2]

- イ (1) 凝灰岩 (2) 輝石安山岩
 (3) 角閃石安山岩 (4) 牛伏砂岩

[正解 1]

- ウ (1) 八幡荘 (2) 多胡郡 (3) 緑野屯倉 (4) 佐野屯倉

[正解 4]

●解説

市史跡の漆山古墳は、6世紀後半に築かれた墳丘長60メートルの前方後円墳で、横穴式石室が開口しています。石室は、山名町の丘陵部に産出する凝灰岩を鉄の工具で削り、見事に組み上げています。当時、倭国の中心地であった近畿地方ではまだ切石の石室は出現しておらず、群馬県地域で独自に発達した技術です。

漆山古墳が存在する倉賀野・佐野地域は、4世紀に浅間山古墳など多くの古墳が築かれてきましたが、6世紀前半に古墳造りが一時低調になります。しかし、6世紀後半の漆山古墳から大型古墳が復活します。上野三碑の一つである山上碑（681年建立）には、「佐野三家（屯倉）」の存在が記されています。ヤマト王権の直轄地である佐野屯倉が6世紀後半に置かれたため、この地域が再び活性化し、漆山古墳が築かれたのでしょう。このことから漆山古墳の被葬者は、初代の佐野屯倉の管理者だと推定されています。

問 9

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

倉賀野町にある県指定史跡【ア】は7世紀末に造られたものです。その石室内の壁には七体の仏像が彫られており、これらは鎌倉時代の作と推定されます。「七仏薬師」と呼ばれて巳年だけに公開する秘仏のため、今年5月8日に12年ぶりの「ご仏開帳」となりました。

伝説によれば、奈良時代の高僧【イ】が諸国行脚した途中この地に立ち寄り彫りあげたということです。

- ア (1) 浅間山古墳 (2) 大鶴巻古墳^{おおつるまき}
(3) 小鶴巻古墳^{こつるまき} (4) 安楽寺古墳

〔正解 4〕

- イ (1) 行基 (2) 鑑真 (3) 道鏡 (4) 最明寺入道

〔正解 1〕

●解説

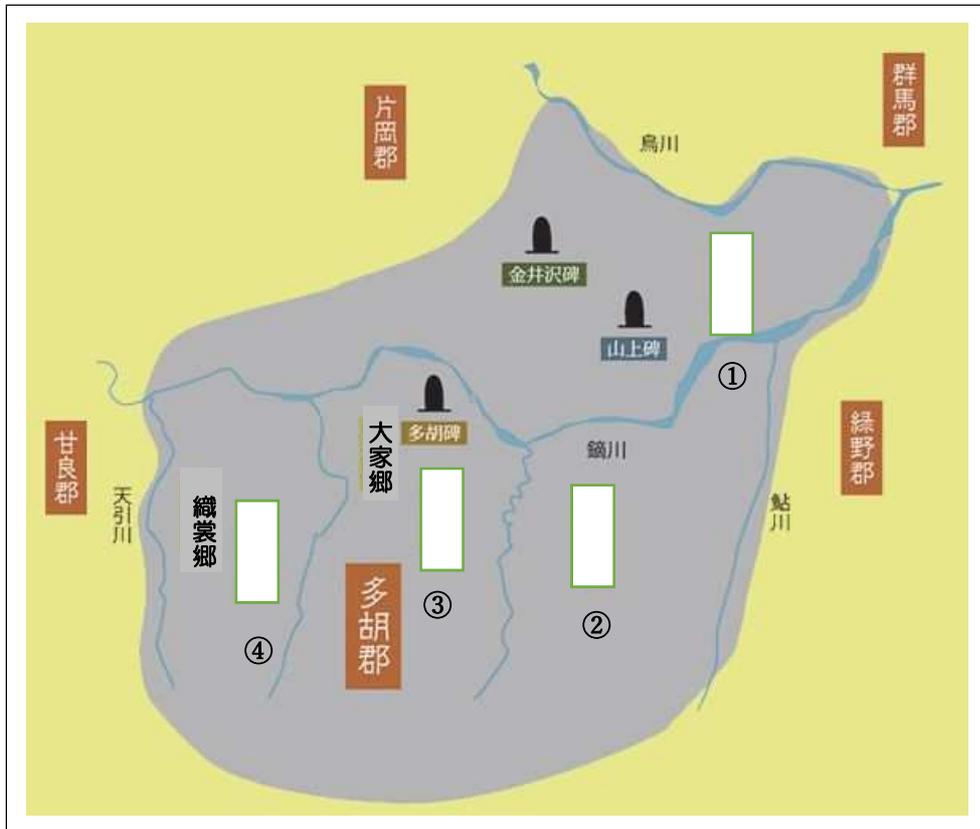
倉賀野町の安楽寺の裏にある安楽寺古墳(7世紀末築造・県指定史跡)の石室内に「七仏薬師」という磨崖仏があります。この寺院を造営したときに、墳丘を削平した際、主体部である横口式石槨(羨道^{よこぐちしきせつかく}の奥に石棺^{せんだう}が取り付いたような構造)が姿を現したと考えられています。その時、玄室の奥の左右の壁に薬師仏7体が彫り込まれました。様式などから鎌倉時代末期に彫られたものと推測されています。

「七仏薬師」は巳年にだけ公開する秘仏で、令和7年5月8日に12年ぶりの秘仏開帳が行われました。

この寺の伝説によれば、奈良時代の高僧の行基(668～749)が諸国行脚した途中に倉賀野に立ち寄り、この石室を一夜の宿とし、七体の薬師仏を彫っていましたところ、8体目で夜が明けてやめたということです。

問 1 0

辛科神社は大宝年間（701～704）に、渡来系の人たちによって創建されたと伝わる古社です。神社名の辛科は多胡郡建郡に際し、甘良郡から割かれた韓級（辛科）郷に通じますが、その韓級（辛科）郷の場所は下図の多胡郡のどのあたりと考えられているでしょうか。



- (1) ① (2) ② (3) ③ (4) ④

〔正解 4〕

●解説

辛科神社（吉井町神保）は大宝年間（701～704）に、渡来系の人たちによって創建されたと伝わる古社です。神社名の辛科は多胡郡建郡に際し、甘良郡から割かれた韓級（辛科）郷に通じます。韓級（辛科）は『和名類聚抄』の多胡郡に「辛科」とあり、加良之奈（からしな）と読むとされています。

韓級（辛科）郷は多胡郡の西に位置し、東に大沢川が流れています。大沢川の左岸には6世紀から7世紀かけて築造されたと考えられる神保古墳群があります。かつては100基以上から成る大古墳群で、当地の繁栄の一端を伝えています。

問 1 1

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

上野三碑は、1954年に国の【ア】に指定され、さらに2017年にはユネスコ「世界の記憶」に登録されました。

このうち山上碑は、【イ】長利が、母のために建てた石碑として知られています。

また多胡碑は、わが国で唯一の古代建郡碑として知られています。碑文には、【ウ】、緑野郡、甘良郡、のうち300戸を分けて新しい郡「多胡郡」を設置したとあります。この多胡郡建郡の年は、中央政府が【エ】に都を遷した翌年にあたります。

- ア (1) 重要文化財 (2) 天然記念物
(3) 登録有形文化財 (4) 特別史跡

[正解 4]

- イ (1) 放光寺の僧 (2) 緑野寺の僧
(3) 上野国分寺の僧 (4) 辛科神社の神官

[正解 1]

- ウ (1) 碓氷郡 (2) 群馬郡 (3) 片岡郡 (4) 多野郡

[正解 3]

- エ (1) 飛鳥浄御原宮あすかきよみはらのみや (2) 藤原京ふじわらきょう (3) 平城京へいじょうきょう (4) 長岡京ながおかきょう

[正解 3]

●解説

上野三碑は、古代上野国に建立された石碑の総称で、江戸時代には「上州三碑」「上毛三碑」という表記も見られました。

明治時代初期には、第二次群馬県の初代県令であった楫取素彦により、三碑の所在地がそれぞれ官有地化されます。そして1921（大正10）年には「史蹟」に指定されました。

三碑は、戦後の1954年に国宝と同等の史跡である「特別史跡」に指定され、さらに2017年にはユネスコ「世界の記憶」に登録されています。

三碑のうち山上碑には、碑文4行目に「長利母爲記定文也 放光寺僧」とあり、長利は古代寺院の放光寺（山王廃寺、前橋市総社町総社）の僧侶であったと考えられています。

また多胡碑文には、碑文1～2行目に「片罡郡緑野郡甘良郡并三百戸郡

成」とあり、当時の建郡の状況が述べられています。

このうち「罫」は「岡」の異体字で、出土遺物のほか、高句麗こうくりこうかいど広開土おう王碑（中国吉林省）にも同様の表記の事例があります。

この古代片岡郡は、烏川右岸の広範囲な領域を占めていたと考えられていますが、江戸時代の片岡郡は乗附・石原・寺尾の3か村のみで構成されていました。

1896（明治29）年、片岡郡は西群馬郡と統合し群馬郡が成立、片岡郡は消滅します。しかしこれより前、1889（明治22）年には乗附・石原・寺尾地域が「片岡村」として自立しました。

1927（昭和2）年、群馬郡片岡村は高崎市と合併して28年間の歴史を閉じますが、その後、現在まで高崎市内の町名として「片岡町」があります。

なお、選択肢の飛鳥浄御原宮（奈良県）は飛鳥時代の天皇の宮、藤原京（同県）は飛鳥時代の都城、長岡京（京都府）は奈良時代末期の都城です。

問 1 2

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

山名町に所在する上野三碑のひとつである金井沢碑は、2026年、建立から【ア】目を迎えます。輝石安山岩きせきを用い、隅丸方形を呈した高さ110センチメートルの碑の表面には、漢字で【イ】が刻まれています。碑文は、群馬郡の南部に拠点みやげを置いていた「三家氏」とその一族が仏教によって心を一つにし、【ウ】を行ったことが記されています。古代豪族の思想を今日まで伝えるユネスコ「世界の記憶」にふさわしい文化財です。

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| ア（1）800年 | （2）1000年 | （3）1300年 | （4）1500年 |
| | | | 〔正解 3〕 |
| イ（1）53字 | （2）80字 | （3）112字 | （4）152字 |
| | | | 〔正解 3〕 |
| ウ（1）祖先供養 | （2）豊作祈願 | （3）雨乞い | （4）悪魔調伏 |
| | | | 〔正解 1〕 |

●解説

金井沢碑は奈良時代の726（神亀3）年に、山名町の丘陵上に建てられました。碑文には、群馬郡下賛郷に拠点を置いた三家氏を施主として、婚姻で結び付いた他田君氏・物部君氏・磯部君氏たちが、仏教によって祖先を祀ったことが記されています。また、碑に名が刻まれた9人のうち4人を女性が占め、メヅラトジ・カナトジ・ヒヅメトジ・ワカヒヅメトジ（トジ〔刀自〕は女性の尊称）という固有名詞で刻まれ、女性の社会的立場の高さを示しています。金井沢碑は、古代の人々の思想や関係性、女性の社会的立場などを今日に伝えてくれる稀有の文化財といえるでしょう。このため、日本に63件しかない国特別史跡に指定され、「ユネスコ世界の記憶」に登録されているのです。2026年に金井沢碑は建立から1300年を迎えます。

問 1 3

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

平安時代末期の1180（治承4）年9月30日、【ア】は、東国の混乱がまとまらないのを機に、清和源氏の嫡流としての自負から、寺尾城（高崎崎市寺尾町）において【イ】を抱き、源頼朝の誘いには応じないで、東国に独立した武家の勢力圏をうち立てようとしたと考えられています。

一方、【ア】の長子である【ウ】^{よしのり}義範と【ア】の孫である【エ】^{よしなり}義成は、いち早く源頼朝側に付いて大成していきます。

ア（1）^{にったよしさだ}新田義貞 （2）^{みなもとのよりまさ}源頼政 （3）^{あしかがよしやす}足利義康 （4）^{にったよししげ}新田義重
〔正解 4〕

イ（1）「自立の志」 （2）「平氏打倒」
（3）「天下布武」 （4）「成功高大」
〔正解 1〕

ウ（1）得川 （2）新田 （3）山名 （4）和田
〔正解 3〕

エ（1）岩松 （2）里見 （3）足利 （4）世良田
〔正解 2〕

●解説

新田義重は1114(永久2)年に源義国の長男、源義家の孫として京都で生まれました。(生年には1135年説もあります)

義重は東毛の新田荘の領主です。1154(久寿元)年頃この荘園領家は藤原忠雅であり、さらには荘園本家の鳥羽法皇の御願寺である金剛心院の造営に寄進されたものでした。

義重は藤原忠雅から新田荘下司職に任命され、12世紀後半には高崎市を中心とする八幡地域など西毛地域にも進出し影響力を持っていました。その中でも寺尾(高崎市寺尾町)、山名(高崎市山名町)、里見(高崎市上里見町・中里見町・下里見町・上大島町)は特に重要な拠点だったといえます。

新田義重は、1180(治承4)年9月30日、東国の混乱がまとまらないのを機に、清和源氏の嫡流としての自負から「自立志」を抱き、源頼朝の誘いに応じないで東国に自立した勢力圏をうち立てようとしたと考えられています。

その拠点は寺尾城(高崎市寺尾町とその周辺)で現在の高崎市の岩野谷丘陵(観音山丘陵)です。

頼朝勢力が拡大するのを見て、義重も頼朝に従うことを決意し鎌倉に向かいます。頼朝にとってその行動は直ぐには許されず、安達盛長の口添えにより、年末になってやっと頼朝から許されます。義重は「内乱期にたやすく城を出るものではないと家人に諫められて参上が遅れました」と弁明しています。

なお、出題では、『山名家譜』を参考に義重の「長子」義範としましたが、『尊卑分脈』等では、義俊に新田太郎と註記があることなどから、義俊を長男とする考えもあります。

問 1 5

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

榛名神社では、鎌倉の宗教界でも活躍した頼印^{らいいん}が南北朝時代に【ア】を務めました。頼印の活躍もあり、榛名神社は上野における有数の聖地・霊場として発展しました。頼印より前の【ア】の墓と伝えられる「榛名山【ア】の森」や頼印が居住したともいわれる「石上のしん寺跡」などの関連する市指定史跡が、【イ】に所在します。

ア (1) 御師^{おし} (2) 神主^{かぬし} (3) 座主^{ざす} (4) 住職^{じゅうしょく}
〔正解 3〕

イ (1) 倉渕地域 (2) 群馬地域 (3) 榛名地域 (4) 箕郷地域
〔正解 1〕

●解説

南北朝時代に榛名神社の座主を務めた頼印は、鶴岡八幡宮の事務を司る執行職に補任されたほか、鎌倉公方足利氏満に命じられて祈禱を行うなど鎌倉の仏教界で活躍しました。

座主職には石上（倉渕町三ノ倉の石上）、石津（倉渕町三ノ倉～権田）、毛呂田（上室田町・中室田町・下室田町か）などの所領があり、その中の石上には「榛名山座主の森」と呼ばれる場所があり、中世の石造物が残っています。また、石上には「シンテラ」と呼ばれる場所があり、頼印が居住したとも言われ、観応元年（1350）銘の五輪塔が発見されています。

問 1 6

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

元紺屋町の善念寺は1540（天文9）年、和田城主であった和田信輝による開基と伝わる、浄土宗の寺院です。御本尊の【ア】立像は鎌倉時代初期の作と推定されており、県重要文化財に指定されています。

境内には和田三石の一つである【イ】の半分が残されています。【イ】はかつて門前にあり、【ウ】に利用されていました。

- ア (1) 地蔵菩薩 (2) 阿弥陀如来
 (3) 薬師如来 (4) 不動明王
 [正解 2]
- イ (1) 立石^{たていし} (2) 円石^{まるいし} (3) 方石^{かくいし} (4) さざれ石
 [正解 2]
- ウ (1) 門柱 (2) 沓脱石 (3) 橋 (4) 道しるべ
 [正解 3]

●解説

元紺屋町の善念寺(浄土宗)は1540(天文9)年、和田城主であった和田信輝による開基と伝わります。

御本尊の阿弥陀如来立像は寄木造りで、像高95センチメートル、衣文の形式などから鎌倉時代初期の作と推定されます。江戸時代中期に編まれた『高崎寿奈子』には「本尊 阿弥陀如来 聖徳太子御作・・・常は秘仏・・・此本尊靈驗あらた也」と記載されています。寺では別に平安時代中期の僧恵心僧都の作と伝えています。当初は高崎市の重要文化財でしたが、その後、県重要文化財に指定されました。

下仁田戦争の二木助五郎・千代之助父子、内田金之助、『地方凡例録』を著した大石久敬、高崎秤座守随彦三郎の子孫荒木氏、高崎の初代市長矢島八郎の先祖が眠ります。

享保の末頃(江戸時代中期)、住職が上和田にあった円石を石工に命じて半割させ、門前を流れる用水に石橋として掛けられました。現在、この石橋は用水が暗渠^{あんきよ}となったことから不要となり、本堂前に立った状態で置かれています。なお、残りの半分は武居世平の歌碑に利用され、成田山光徳寺にあります。

問 1 7

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

箕輪城は、長野氏が城主であった1566(永禄9)年に武田氏が落とすとその後は武田氏、織田氏、【ア】、徳川氏の城として使われ、こうした城主の交代などに伴って、何度も改修されました。史料では少なくとも3回の改修が知られ、特に、1587(天正15)年の改修は、【ア】

が豊臣秀吉の来襲に備えて領国中の城郭で一斉に行われた一環といわれ、玉村や【イ】までに及ぶ広範囲にわたる動員の上で、大規模な普請が行われました。

- ア (1) 今川氏 (2) 上杉氏 (3) 佐竹氏 (4) 北条氏
〔正解 4〕
イ (1) 吾妻 (2) 鬼石 (3) 白井 (4) 新田
〔正解 2〕

●解説

箕輪城は城主が何度も変わる中で、城の改修が行われています。文書史料からは、1567(永禄10)年に武田信玄が真田幸隆、信綱に箕輪城に移り、普請(改修)を行うように命じているのと、1587(天正15)年に北条氏が玉村の宇津木氏や鬼石の北谷郷の土豪である飯塚氏を箕輪城の普請(改修)に動員しているのが知られています。ほかに1590(天正18)年には豊臣秀吉が井伊直政に箕輪城での普請(改修)を命じている史料もあります。こうした文書史料に知られている以外の改修も行われている可能性もありますが、いずれにしても箕輪城の今見られる縄張りはこの改修を経た姿になります。

問 18

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

箕輪城が武田信玄の攻撃によって落城した際の城主であった長野業盛もり うじなり(氏業)の遺児の亀寿丸は箕郷町和田山の【ア】にかくまわれたという伝承があります。【ア】は永禄年間(1558~1570)から、西上州の【イ】の一派をまとめる役である「西上州年行事職」を務め、箕輪城主との関連が深かったようです。

- ア (1) 極楽院ごくらくいん (2) 東向八幡宮ひがしむきはちまんぐう (3) 来迎寺らいごうじ (4) 龍門寺りゅうもんじ
〔正解 1〕
イ (1) 時宗 (2) 修験道 (3) 神道 (4) 曹洞宗
〔正解 2〕

●解説

古代末から中世にかけて、神仏習合が進むと、山岳信仰と仏教が融合した修験道も発展しました。修験道には天台宗系の本山派と真言宗系の当山派があり、西上州では本山派が盛んで、その中心は大蔵坊（西国分町）と極楽院（箕郷町和田山）でした。戦国時代には、西上州の修験をまとめる役である「西上州年行事職」を巡って両者は争いました。

問 19

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

【ア】が烏川に合流する地点の2キロメートルほど上流に位置する【イ】町一帯は、おおむね平坦で古来洪水に悩む地域でした。古くから要衝の地でしたので、古河公方に従っていた【イ】駿河守範虎が居城を構え、その北に位置する心洞寺は館跡です。同寺の山門を中心に東西に【ウ】の一部が残っています。範虎の内室である姫は箕輪城主【エ】の娘で、箕輪城が落ちる前に避難したものの、敵の手に落ち生き恥を晒すまいと榛名湖に入水します。すると、龍と化し天高く上った、あるいは、大蛇となったという伝説があります。

- ア (1) 粕沢川 (2) 鎚川 (3) 神流川 (4) 温井川
〔正解 2〕
- イ (1) 岩鼻 (2) 木部 (3) 西島 (4) 矢中
〔正解 2〕
- ウ (1) 馬出 (2) 土居 (3) 土堀 (4) 堀切
〔正解 2〕
- エ (1) たきがわかずます 滝川一益 (2) ないとうまさとよ 内藤昌豊
(3) ながのなりまさ 長野業政(業正) (4) ながおかげなか 長尾景仲
〔正解 3〕

●解説

吉井方面から流れてきた鎚川は南から流れる鮎川が合流し、そこから2キロメートルほど下流で北側を流れる烏川に合流します。烏と鎚両川の輪中の地域が木部町で、おおむね平坦で古来洪水に悩まされる土地柄

でした。木部の地名は、石見国（島根県）の木部郷に住みつき木部姓を名乗った氏族が、室町時代に古河公方に従って山名郷に移り住み、この辺り一帯を木部と呼ぶようになったからと言われます。木部駿河守範虎が新しい城を築いたとき、木部氏の居館があった所に山名から心洞寺を遷したといわれます。当時の堂宇は焼失しましたが土塁と石垣の一部が残されています。境内に建つ範虎の墓碑の傍らに妻で箕輪城主長野業正の娘である木部姫の墓碑が建立されています。姫は実家の箕輪城が武田氏により落とされる前に落ち延びたものの、敵の手に落ち生き恥を晒すまいと榛名湖に入水し龍神と化した、あるいは、榛名の神社を参詣し榛名湖畔に立つと一天俄かに曇り姫は大蛇となって湖底に深く沈んだ、という木部姫伝説があります。

問 20

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

江戸時代、江戸と日本海側は、中山道と途中にある高崎宿を起点とした三国街道で結ばれていました。高崎宿を北上して【ア】宿、渋川宿、金井宿の各宿場町を経ると、【イ】の南岸には杓ヶ橋関所が設置され、おもに高崎藩が管理をしていました。同関所は、さらに街道を北上して上野国・越後国境界の三国峠近くに位置する猿ヶ京関所とともに、往来する人や荷物の改めをする重要な役割を担っていました。

ア (1) 三ツ寺 (2) 足門 (3) 金古 (4) 野田
〔正解 3〕

イ (1) 吾妻川 (2) 八幡川 (3) 染谷川 (4) 牛池川
〔正解 1〕

●解説

三国街道は、中山道などの五街道ではなく脇往還ですが、幕府は江戸から中山道を経て日本海側を結ぶ主要道として重視しました。

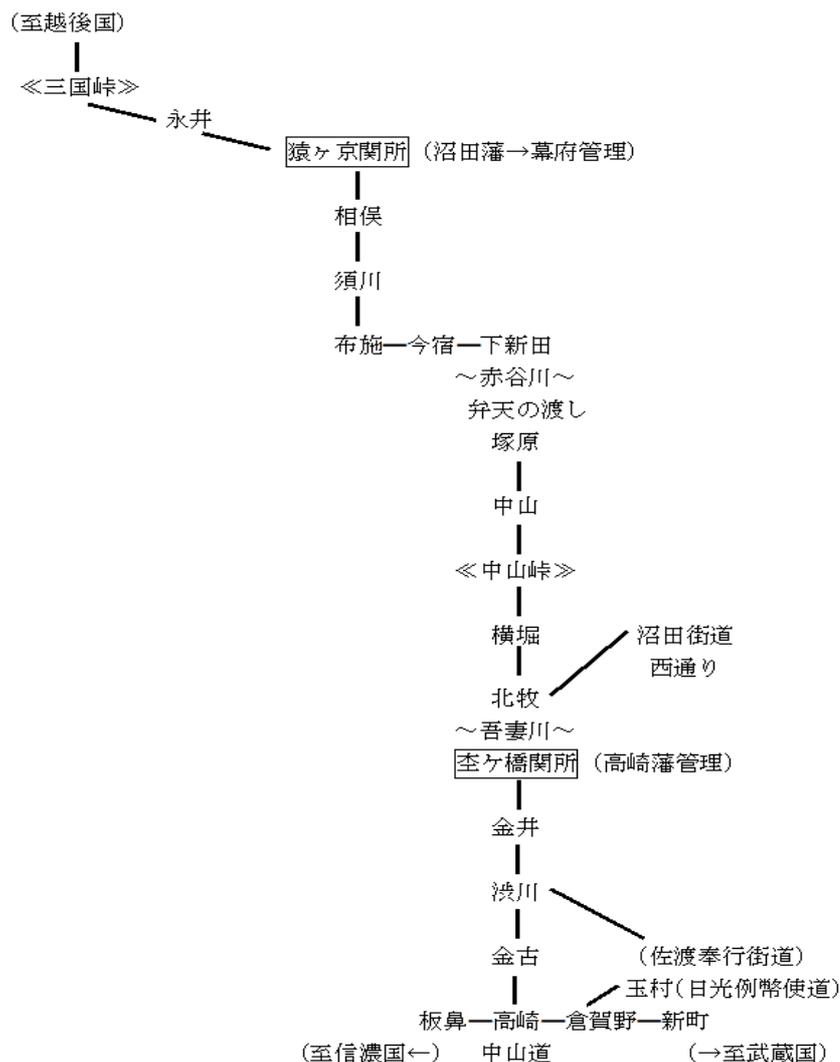
このうち杓ヶ橋関所は、三国街道の吾妻川南岸に設置されました。役割としては、川を渡って北牧宿から三国街道を北上、もしくは北東の沼田道（西通り、利根川右岸）へ向かう旅人と、その荷物を改める業務が

ありました。一般庶民のほか、佐渡奉行をはじめ、長岡・新発田・村上・村松藩などの北国の大名や旗本といった武士も同関所を通過しました。

杣ヶ橋関所の創設は元和年間（1615～24）で、はじめは番所でしたが、寛永年間（1624～44）には関所に昇格したと考えられています。江戸防衛を担う関所として、その警固については、当初は安中藩の井伊直勝（高崎藩初代藩主・井伊直政の長男）が任じられました。しかし直勝の子・直之の代になり、井伊氏が三河国へ転封すると、高崎藩の安藤氏にその任務が引き継がれました（前橋藩の松平氏が管理した時期あり）。以降、1868（明治元）年の廃関まで、同関所は高崎藩が管理し、関所役人は同藩士が務めました。一方で、関所の実務を担当する役人の「定番」は、地元から選ばれて役宅に居住し、名字帯刀が許されました。

【三国街道と周辺路線図】

※囲み線は関所



問 2 1

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

倉賀野は中山道の宿場として、伝馬役が上町・中町・下町の3か所に置かれました。それぞれに【ア】が置かれ、10日ごとに交代して業務を担当しました。大名や公家の宿泊や休息に供する本陣と脇本陣もあり、脇本陣【イ】の建物が残されています。加えて烏川には舟運の倉賀野河岸も設けられ流通の拠点でした。この河岸は利根川水系で【ウ】が遡航できる最上流に位置し、江戸からの上り荷物は塩・小間物など、江戸への下り荷物は【エ】・麻など大量の商品荷物が運ばれていました。

ア (1) 往還場 (2) 立場 (3) 問屋場 (4) 町名主
〔正解 3〕

イ (1) 梶山家 (2) 柴田家 (3) 須賀家 (4) 勅使河原家
〔正解 3〕

ウ (1) ^{あたけぶね}安宅船 (2) 江戸廻り船 (3) 菱垣廻船 (4) ^{ほしけしたふね}舂下船
〔正解 2〕

エ (1) 米 (2) 茶 (3) 太物類 (4) 綿
〔正解 1〕

●解説

宿場には公用の旅人や荷物の往来に関する事務を行った問屋場があり、一つの宿場に複数置かれた場合には交代で事務を執り、中山道の倉賀野宿では上町・中町・下町の3か所に置かれ、上10日を中町、中10日を上町、末10日を下町が交代で勤めています。

また、宿場は休泊施設を提供する場でもあり、本陣・脇本陣や旅籠屋などが置かれました。大名・旗本や公家などの休泊施設が本陣で、その補助的な役割をしたのが脇本陣です。倉賀野宿には本陣1軒と脇本陣が2軒おかれ、その一つ須賀家の建物が現存しています。

江戸に幕府が開かれると一大消費都市として発展、江戸への大量の物資を運ぶ手段として河川水運が大きな比重を占めるようになりました。その主役利根川水系の烏川倉賀野河岸は江戸廻り船が遡航できる最上流に位置し、中山道の宿場に隣接する水陸交通の接点として重要な役割を果たしました。江戸からの上り荷物は塩・茶・小間物・干鰯・綿・太物類

など、江戸への下り荷物は米・麻・紙・煙草などが運ばれました。

問 2 2

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

江戸時代の17世紀後半頃から、信濃^{たかとお}高遠藩の石工が高崎にも進出します。この高遠石工が高崎において当初拠点にしたのが、石材の産出地である箕輪（箕郷町矢原・松之沢、上善地など）と【ア】です。彼らはこれらを拠点に活動し、市指定重要有形民俗文化財の松之沢【イ】や市指定史跡の【ウ】の百庚申をはじめとして、多数の石造物を残しています。

- ア (1) 大類 (2) 上里見 (3) 倉賀野 (4) 塚沢
〔正解 2〕
- イ (1) 百観音 (2) 百地藏 (3) 百体磨崖仏 (4) 百仏
〔正解 1〕
- ウ (1) 後疋間 (2) 館 (3) 町屋 (4) 楽間
〔正解 2〕

●解説

高遠石工は高遠藩から出稼ぎで来た石工で、高崎では箕輪や上里見が拠点になっていました。市内において高遠石工作品が資料上確認されるのが、17世紀後半からですが、本格的に作られるのは18世紀からになります。松之沢百観音や館の百庚申をはじめとして、高遠石工の銘が確認される作品が多数残ります。高遠石工の中には江戸時代後半や明治以降に高崎に定住し、当地で石材業を営む家もありました。

問 2 3

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎藩の大河内松平家三代目【ア】は、譜代大名の昇進コースを進み、1758(宝暦8)年、老中に就任し、1779(安永8)年には老中首座になりました。在任中の後半の老中には田沼意次たぬまおきつぐもいました。

しかし1781(天明元)年、上州特産物の絹織物や生糸に課税すると西上州を中心とする百姓が反対の一揆を起し、8月に高崎城下を襲撃した【イ】が起こります。彼にとってこれは痛恨の極みとなりました。

ア (1) 定信さだのぶ (2) 輝高てるたか (3) 信綱のぶつな (4) 輝聲てるな
〔正解 2〕

イ (1) 大原騒動 (2) 亀山騒動 (3) 絹運上騒動 (4) 霜月騒動
〔正解 3〕

●解説

高崎藩の大河内松平家三代目の輝高は1749(寛延2)年2月、父の輝規てるのりの引退と同時に藩主となりました。当時24歳だった輝高は、その年の8月に高崎に帰国し、領内の村況を視察したといいます。また、その年の12月に奏者番そうじゃぼん、1751(宝暦元)年に寺社奉行を兼任、翌年4月に大坂城代、さらに4年後の宝暦6年5月に京都所司代に転任し侍従に昇任します。

その後は1758(宝暦8)年10月に老中に就任し、1779(安永8)年に老中首座になりました。在任中後半の老中には田沼意次もいました。

しかし1781(天明元)年に、輝高が総指揮をとり、上州特産物の絹織物や生糸に課税すると、西上州を中心とする百姓が反対の一揆を起し、高崎城下を襲撃した「絹一揆」(「絹運上騒動」)が起こります。その年の8月13日の夕刻、一揆勢は城下のあら町で藩の御用達を勤める大黒屋だいこくやを襲って打ちこわし、氣勢を上げたと記録されています。

幕府はこの課税を撤回しますが、輝高はその年の9月25日に57歳で亡くなります。その後、長男の輝行が早世したため、次男の輝和てるやすが高崎藩主を継ぎます。

問 2 4

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のうちどれでしょうか。

幕末から明治期にかけて活躍した絵師の【 】は、江戸に生まれました。後年に高崎へ来て婿入りした彼は、片岡郡石原村（現石原町）の清水寺観音堂にある絵馬など群馬県内各地に作品を残しています。

- (1) 一椿齋芳輝 (2) 歌川国芳 (3) 金井烏洲 (4) 志倉西馬

〔正解 1〕

●解説

一椿齋芳輝（歌川芳輝）は、江戸日本橋の米山源四郎の次男として生まれました（通称は芳三郎）。

芳輝は、はじめは谷文晁（1763～1841）に入門しましたが、その後、歌川国芳（一勇齋、1798～1861）に師事して「一椿齋」の号を得ます。

しかし、芳輝は江戸を去り、高崎城下あら町の旅籠屋・田中家に婿入りします。同家の娘「モヨ」とのあいだに一男三女を成した芳輝は、家督を譲って晩年は好きな絵を描いて過ごしました。群馬県内各地に多くの作品を残しています。1891（明治24）年没。

なお、選択肢のうち金井烏洲は、江戸後期に活躍した佐位郡島村（伊勢崎市境島村）の絵師です。同じく志倉西馬は、江戸後期に高崎俳壇を代表する俳諧師です。

問 2 5

次の表は、江戸時代中期から明治の各時代において、文芸や教育などの分野で活躍した羽鳥一紅、宮部 万、深井仁子、佐藤夕子の4人の女性についての記述です。正しく書かれた記述の組み合わせはどれでしょうか。

	羽鳥一紅	宮部 万	深井仁子	佐藤夕子
①	江戸中期の俳人 「文月浅間記」を執筆	江戸中期の歌人 「木草物語」を執筆	明治の教育家 「国振学校」を創立	明治・大正の教育家 「裁縫女学校」を創立
②	江戸中期の俳人 「富士参詣記」を執筆	江戸中期の歌人 「木草物語」を執筆	明治の教育家 「文武館」の教授	明治・大正の教育家 「英語専修学校」を創立
③	江戸中期の俳人 「富士参詣記」を執筆	江戸中期の歌人 「壬戌紀行」を執筆	明治の教育家 「文武館」の教授	明治・大正の教育家 「裁縫女学校」を創立
④	江戸中期の俳人 「文月浅間記」を執筆	江戸中期の歌人 「壬戌紀行」を執筆	明治の教育家 「国振学校」を創立	明治・大正の教育家 「英語専修学校」を創立

(1) ①

(2) ②

(3) ③

(4) ④

〔正解 1〕

●解説

羽鳥一紅（1724～1795）は甘楽郡下仁田町の石井治兵衛の二女で、のちに高崎田町の絹問屋羽鳥勘右衛門（麦舟）の妻となりました。下仁田の高橋道斎に学び、加賀千代女と俳句の文通を通して、文学の素養を深めました。夫の死後、研鑽を重ね、女流俳人としての名声を確立しました。こういった中、1783（天明3）年の浅間山の大噴火に遭遇し、その惨状を著したのが『文月浅間記』でした。同書は江戸の文人たちの間で評判となりました。

宮部 万（？～1788）は高崎藩士浅井権右衛門の娘で、歌と歌学を冷泉為村に学び、将軍家の歌道師範となった宮部義正と結婚しました。為村の指導を受ける中で、『源氏物語』を書写する機会を得、のちに『木草物語』を著しました。『源氏物語』をヒントにした同書は公家文化の情緒あふれた長編の物語で、後に研究者から「上州の紫式部」と評されました。

深井仁子（1841～1918）は高崎藩士深井資治の三女で、早くに父親

が亡くなったため、貧困の中で育ちました。しかし、勉学に励み、田島ひろえ尋枝について和歌、国学を修めるとともに、武芸にも長じ、藩主の娘達の教導役を務めました。明治になり、新時代を迎えると、宮元町くにふりに国振学校を設立し、いち早く女子教育に取り組むとともに、貧困な子弟の健全な育成を目指し、発育学校を設けました。1907（明治40）年には国振学校に私立深井幼稚園を併設し、幼児教育に先鞭をつけました。観音山清水寺石段脇に、深井仁子の顕彰碑が建てられています。

佐藤夕子（1875～1953）は旧松井田町坂本の八幡神社の神官の家に生まれました。長野県佐久の豪商の家に嫁ぎましたが離縁となり、独立自活のため代用教員に就くなどしました。その後、渡辺裁縫女学校（今の東京家政大学）で学び、卒業と同時に文部省中等教員検定試験（裁縫科）に合格しました。静岡県で教鞭を執った後、念願であった裁縫女学校開校のため職を辞して帰郷、1906（明治39）年、31歳の時、高崎市柳川町の民家を借りて私立裁縫女学校を設立しました。

問 26

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

幕末の高崎藩主【ア】は、前藩主の卒去にともないわずか13歳での襲封に加え難事の連続でした。【イ】に飛地を有していたこともあり江戸湾警固を命じられ、あめりか垂墨利加人宿所の麻布【ウ】の警固も担当しています。同寺は日米修好通商条約に基づき、タウンゼント・ハリス一行の宿舎となり、一室は初代アメリカ合衆国公使館であったため攘夷派からの危険にさらされました。その後も江戸府内の警衛や【エ】の守衛なども命じられ、相当の人数を出兵させるなど厳しい国事への対応が続きしました。

- ア（1）まつだいらたけちか松平武元 （2）まつだいらてるな松平輝聲 （3）まつだいらのぶあきら松平信明 （4）まつだいらまさたか松平正敬
〔正解 2〕
- イ（1）勝浦 （2）木更津 （3）館山 （4）銚子
〔正解 4〕
- ウ（1）寛永寺 （2）善福寺 （3）増上寺 （4）東海寺
〔正解 2〕

エ (1) 猿島 (2) 品川沖砲台 (3) 第三台場 (4) 三浦灯台
〔正解 3〕

●解説

1860 (万延元) 年、大河内松平家の9代高崎藩主輝聴が34歳で卒去、嫡男輝聲が13歳で家督を継ぎました。若年藩主に難事が続きます。下総国海上郡銚子に飛地を有していたこともあり、父の代から江戸湾の警固を命じられ、銚子陣屋の重責は高まり通常の陣屋要員に加えた藩士を派遣するようになります。加えて、就任翌年には江戸麻布善福寺の米国人宿舎の警固を命じられます。桜田門外の変や高輪東禅寺英国公使館襲撃など攘夷派浪士のテロが横行していた時期で、善福寺の一室に居住したアメリカ合衆国初代駐日公使タウンゼント・ハリスも通訳を暗殺される危険な状況でした。続いて、伊皿子長應寺のオランダ人宿舎の警固、1863 (文久3) 年には英国軍艦渡来で容易ならざる状況になった江戸府内の見廻り、第三御台場 (品川第3砲台) の守衛と次々に幕命が下りました。これらの役は解かれますが、水戸浪士 (後の水戸天狗党) による豪農や商人を強要して金銭を押し借りするなど乱暴狼藉が頻繁になると水戸浮浪之徒追討命令が下りました。

問27

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

市内あら町に建つ【ア】は、同寺の由緒によると群馬郡岩鼻村に創建、のち同郡【イ】に移転し、井伊直政が高崎城主になると現在地へ移りました。境内に建てられている「【ウ】事件之碑」は、事件を忘れないため初代高崎市長矢島八郎と井上保三郎が発起人となって建立されました。幕末の新町 (現あら町) は、【ウ】の継立経費の負担や、大火により街道筋の家々が焼失した災難などから、非常に困窮していました。そのような状況を解決するため箱訴に及んだ事件で、城下の篤志家による資金を基に助成金500両が城主から下付され、関係者の処分も片付き一件落着きました。

- ア (1) 安国寺 (2) 延養寺 (3) 大雲寺 (4) 大信寺
〔正解 2〕
- イ (1) 金敷平村 (2) 白川村 (3) 西明屋村 (4) 中野村
〔正解 3〕
- ウ (1) 御伝馬 (2) 宿場 (3) 継飛脚 (4) 六斎市
〔正解 1〕

●解説

JR高崎駅の西、あら町交差点の南にある延養寺は、市内下滝町の慈眼寺、玉村町の常楽寺と共に上野国内における三名刹と称されます。

1380年代に現在の岩鼻町に創建され、1558(永禄元)年に箕郷町西明屋へ移転し、井伊直政の移城に伴い現在地へ移りました。境内に「御伝馬事件之碑」があります。この碑は新町(現あら町)町民が1918(大正7)年に大法要会を開催したとき、先祖が事件で処分された初代高崎市長の矢島八郎と白衣観音建立の井上保三郎が発起人となり建立したものです。高崎宿の伝馬を担当していた新町は継立経費の増大などで困窮のため、対策として芝居や角力などの興行と旅籠に飯盛り女を置くことを藩に願い出ますが拒絶され、加えて1862(文久2)年の「百足屋火事」で新町の街道筋はほとんど焼失、伝馬継立が^{おほづか}覚束なくなりました。そこで窮状を訴える箱訴に^{はこそ}及び関係者が捕らえられます。翌々年になり寄合町の中島伊兵衛、連雀町の関根作右衛門からの篤志により城主から御伝馬継立助成金500両が下付され、関係者の処分も片付き一件落着きました。

問28

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

貝沢町の五霊神社が建っている場所は、6世紀後半築造の【ア】で墳長は45メートル以上あったと思われます。

近世には高崎城の【イ】で、祭神は源義家が東北平定した1083(永保3)年「後三年の役」に16歳で同行した「鎌倉権五郎景政」です。鎌倉景政は歌舞伎の市川團十郎が大当たりした演目【ウ】の主人公のモデルでもあります。

また、この場所は【エ】年10月15日、「五万石騒動」で農民3千人

が最初に集結し解散させられた場所です。

ア (1) 円墳 (2) 方墳 (3) 前方後方墳 (4) 前方後円墳

[正解 4]

イ (1) 藩祖を祀る社 (2) 鬼門除け
(3) 武芸上達祈願所 (4) 厄除け

[正解 2]

ウ (1) よしつねせんぼんざくら 義経千本桜 (2) かんじんちょう 勧進帳
(3) 暫 しばらく (4) すがわらでんじゆてならいかみ 菅原伝授手習鑑

[正解 3]

エ (1) 1831(天保2) (2) 1855(安政2)
(3) 1862(文久2) (4) 1869(明治2)

[正解 4]

●解説

五霊神社が建っている場所は、6世紀後半の築造で当時は墳長45メートル以上あった前方後円墳でした。付近にある天王山古墳(浜尻町)とともに大きな古墳で、実際の規模はもっと大きかったのではないかと想定されます。

高崎城の鬼門除けであった五霊神社の祭神は、源義家が東北平定した1083(永保3)年「後三年の役」に、16歳で同行した伝説の勇者「鎌倉権五郎景政」です。この祭神は戦国時代に和田氏が相模国の三浦から、現在の高崎・赤坂の地に勧請し、それを江戸時代にこの場所に移築したということです。鎌倉権五郎は戦の時に目を矢で射られても怯まなかったという豪傑として語り継がれました。また歌舞伎の市川團十郎が大当たりした演目「暫(しばらく)」の主人公のモデルでもあります。

神社の正面の石段下に立つと、右手に「御嶽皇太神」と書かれた碑があり、高崎藩最後の藩主輝聲の書であると記されています。またこの場所は1869(明治2)年10月15日、五万石騒動で新しい時代を期待した農民約3千人が最初に集結し解散させられた場所でもあります。ちなみに本格的な集結の場所は進雄神社(柴崎町)で、17日夜明けの高崎城への行進は約4千人に増加しました。

問 29

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のうちどれでしょうか。

本市に伝わる関東一を誇る一人立ち三頭獅子舞、烏子稲荷神社すないごいなりやお祝神社おぼりなどに付属する太々神楽、まつりを彩る長谷川流と秀山流などのお囃子は【 】時代以降に始まり、継承されてきたと考えられています。

- (1) 平安 (2) 鎌倉 (3) 江戸 (4) 明治

[正解 3]

●解説

本市の一人立ち三頭獅子舞や烏子稲荷神社、小祝神社などに付属する太々神楽、まつりを彩る長谷川流、秀山流などのお囃子といった民俗芸能の歴史は比較的新しく、江戸時代以降に他の地域からもたらされ、いち早く移入した村から周辺の村や町に広がっていったものと考えられます。

市内には一人立ち三頭獅子舞稲荷流の三大宗家の一つである阿久津の獅子舞（阿久津町）から伝授を受けたとする団体がいくつか確認できます。

問 30

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

近世初頭から西上州を中心に生産されていた生絹や太織は需要が拡大し生産量が急速に伸びました。領主の奨励策もあり、養蚕と絹織りは西上州の農家の現金収入となり、西上州の絹市で売買されていました。

1781（天明元）年の高崎絹市場の絹取扱高は年間3万疋びきで西上州では第2位、第1位は【ア】の5万疋でした。

明治期の高崎地域では、新しい技術を導入し地場産業の発展につなげようと考えていました。1912（明治45）年、高崎染業組合は染色講習会を8月から1週間にわたって開催し70人が受講しました。この講習会がきっかけとなり、1913（大正2）年4月、【イ】が堰代町に開設され、

高崎の染色業の拠点になりました。

※1疋=2反、1反は約12メートル

ア (1) 安中 (2) 富岡 (3) 吉井 (4) 藤岡
〔正解 4〕

イ (1) 高崎染色研究所 (2) 草木染研究所
(3) 群馬県工芸所 (4) 高崎紡績所
〔正解 1〕

●解説

天明の「絹運上騒動」の発端となった「端物並貫目改所」設置の際に幕府が調査したと見られる資料によると、上州と武州を合わせて36か所の市場が生絹、太織を取引していたとされています。西上州の絹市場は高崎、藤岡、鬼石、吉井、富岡、宮崎、下仁田、上里見、室田、三ノ倉、総社、渋川などがあり、年間取引が1万疋を超える市場が7か所ありました。藤岡は5万疋で第1位、高崎は3万疋で第2位でした。

高崎染業組合は1912(明治45)年8月に染色講習会を開催し70余人の会員が参加しました。開催を契機に染色研究所設置の声が高まり1913(大正2)年4月、高崎染色研究所が堰代町に開設されました。研究所の会頭に吉村平七が就任し、会報で新しい技法を詳細に紹介するなど業界の技術向上、近代化に貢献しました。

問31

次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のうちどれでしょうか。

「景観重要建造物」は、地域の自然・歴史・文化などに基づき、外観が景観上の特徴を有し、良好な景観形成に寄与する建造物として、各都市の行政機関によって指定されます。高崎市は6件が指定されています。その一つで本町に残る旧山源漆器店は江戸時代からの商家建築を伝える【 】の建物です。

(1) 唐破風付き (2) 数寄屋造り (3) 店蔵 (4) 虫籠窓
〔正解 3〕

●解説

高崎市では、景観法に基づき、地域の自然・歴史・文化等からみて、建造物の外観が景観上の特徴を有し、良好な景観形成に重要な建造物を景観重要建造物として指定しています。建築された時代別に、明治時代の山田家（旧山源漆器店）と（財）山田文庫、大正時代の浦野家と吉田家（旧釜浅肥料店）、昭和時代の旧井上房一郎邸と群馬音楽センターの6件があります。その一つ山田家（旧山源漆器店）は、土蔵造り瓦屋根葺きの「店蔵」と呼ばれる江戸時代後期から明治にかけて防火を考慮した土蔵造りの店舗で、1880（明治13）年の大火により高崎の町家の大半が焼失した後に建て替えられたものです。蔵造りの街並みで知られる川越も1893（明治26）年の大火がきっかけで蔵造り建築が採用されたといわれます。1962年の都市計画道路整備に伴い、旧中山道に沿った多くの店舗が立て替えられ店蔵も失われてしまいましたが、山田家は曳家により残りました。高崎市には山田家以外に関東地方の店蔵はなく大変貴重な歴史的遺産といえます。

問 3 2

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎市街地は台地上に位置しているため、昔から浄水が得にくい場所でした。初代市長の矢島八郎は優先的に取り組むべき施策の一つに上水道の敷設を掲げ、計画を推し進めました。

水源を【ア】に求め、碓氷郡里見村神山（現上里見町）から取水することとし、【イ】に取り入れ口を設けました。取水された水は導水管により、神山集落の南に連なる丘陵を通過して、7キロメートル余り離れた【ウ】へと導かれました。水道敷設のための計画に着手してから9年半の時を費やし、1910（明治43）年11月、高崎市街地に上水が給水されることになりました。

ア（1）榛名白川 （2）井野川 （3）鏑川 （4）烏川

〔正解 4〕

イ（1）春日堰 （2）不動堰 （3）諏訪堰 （4）愛宕堰

〔正解 1〕

- ウ (1) 白川浄水場 (2) 乗附浄水場
(3) 剣崎浄水場 (4) 若田浄水場

[正解 3]

●解説

1900 (明治33) 年、高崎に市制が施かれ、初代市長に就任した矢島八郎は優先的に取り組むべき施策の一つに上水道の敷設を掲げ、計画を押し進めました。

水源地として、旧群馬郡片岡村、旧碓氷郡里見村、同郡磯部村の3か所が候補地に挙げられましたが、調査の結果、水量、水源からの導水路の距離、浄水地との高低落差等の観点から碓氷郡里見村からの取水が適切であるとの結論に至り、ここから同郡八幡村剣崎の丘陵上に送水し、浄水場を設けることに決まりました。

取水は烏川に設けられた春日堰から行うこととし、ここからの引水の一部を高崎市に分水することから、1901 (明治34) 年、碓氷郡里見村長との間で水源に関する契約を締結し、工事に向けた測量、設計がスタートしました。工事は1907 (明治40) 年に始まり、1910 (明治43) 年11月30日に完成しました。計画着手から9年半を要した大事業でした。上水道の敷設は県内で最も早く、全国でも20番目の早さでした。

問 3 3

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

富国強兵を急ぐ明治政府は1873 (明治6) 年、徴兵令を公布し、旧高崎城内に東京鎮台第一分営高崎營所を置きましたが、この時、併設された病院が高崎総合医療センターの始まりになります。その後、高崎營所は歩兵第十五連隊に改編され、病院施設も高崎【ア】、さらに高崎陸軍病院へと名称を変え、兵士の医療にあたりました。また、この間、軍医部長であった【イ】が連隊の衛生状況の検閲のため来高しています。

戦後、病院は国立高崎病院、国立病院機構高崎病院の時代を経て、現在に至りますが、この間、地域医療支援病院、地域災害拠点病院の指定を受け、2013年からは【ウ】の運用も始めるなど、地域医療を多方

面からリードしています。

ア (1) 特殊病院 (2) 営所病院 (3) 衛戍病院 (4) 隔離病院

[正解 3]

イ (1) 夏目漱石 (2) 尾崎紅葉 (3) 森鷗外 (4) 田山花袋

[正解 3]

ウ (1) 訪問介護 (2) 特別養護老人ホーム
(3) 美容外科 (4) ドクターカー

[正解 4]

●解説

富国強兵を急ぐ明治政府は1873（明治6）年、徴兵令を公布し、高崎城内に東京鎮台第一分営高崎営所を置きましたが、この時、併設されたのが営所病院です。当時、病室は建設中で、藩主の屋敷が使用されました。

その後、営所病院は1888（明治21）年、衛戍病院と改称され、1909（明治42）年、別に旧碓氷郡磯部村に転地療養所を設けました。1936（昭和11）年に陸軍病院へと名称を変え、増え続ける傷病者の治療にあたるため、1938（昭和13）年には病棟が7棟に増設されるなど、施設の拡充が図られました。1945（昭和20）年5月には伊香保温泉と磯部温泉の旅館を借り上げ、伊香保別院、磯部別院としました。終戦当時には本院、別院を併せ、1,000人を超える患者が入院していました。

1945年、終戦後間もなく、病院はこれまでの陸軍省から厚生省に移管され、国立高崎病院（通称：国高）となりました。戦前からあった建物の老朽化に伴い、1969年以降病院の建て替え工事が行われましたが、この時、病院表門がこれまでの公園側から現在の場所に移されました。また、看護学校が新たに置かれました。

1983年、救命救急センターを設置、2001年には厚生労働省へ移管され、2004年に独立行政法人へ移行、独立行政法人国立病院機構高崎病院となりました。2009年、新病棟が完成し、名称が現在の独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター（通称：高総）に変更されました。2011年には災害拠点病院の指定を受け、2013年からドクターカーの運用が始められました。

問34

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

群馬県立高崎高等学校は1897（明治30）年、群馬県尋常中学校群馬分校として、赤坂町の【ア】を仮校舎として創立されました。翌年、上和田町に2階建て校舎が竣工したため、ここに移転し、続く1900（明治33）年に群馬県高崎中学校として独立を果たしました。その後、校舎が手狭になったことから、1938（昭和13）年、乗附の地（現八千代町）に移転しました。上和田町の旧地は現在の【イ】です。

- ア（1）十一面観音堂 （2）神武遙拝所
 （3）長松寺 （4）連隊長官舎

〔正解 3〕

- イ（1）第一中学校 （2）高崎警察署
 （3）並榎村舎 （4）山田文庫

〔正解 1〕

●解説

群馬県立高崎高等学校は1897（明治30）年、群馬県尋常中学校群馬分校として、赤坂町の長松寺を仮校舎として創立されました。これに先立ち、1877（明治10）年、高崎駅（駅は町村制が施行される前の行政単位）に中学校が設立されました。同12年に廃校となり、高崎に中学校がない時代が長く続いていましたが、この群馬分校の開校により、本格的な中等教育が始まることとなりました。

1898（明治31）年には長松寺に程近い上和田の地に2階建て校舎が竣工したため、ここに移転し、1900（明治33）年には群馬県高崎中学校として独立を果たしました。奇しくもこの年は高崎に市制が施行された時でもありました。その後、生徒数の増加とともに校庭の拡張や校舎の増築を行いましたが、それでも追いつかず、1938（昭和13）年、乗附の地（現八千代町）に移転しました。

戦後、新制高校として、群馬県立高崎高等学校となり、文武両道の進学校として、これまでに3万3千人を超える多くの人材を輩出しています。

問 3 5

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

【ア】は1913（大正2）年、【イ】に開館した高崎で初めての常設映画館です。その後、『ガメラ』や『大魔神』シリーズなどの特撮ものも上映され、大人だけでなく、多くの子どもたちが押し寄せました。

その後、映画産業の不振により、2001年、休館となってしまいましたが、2014年、市に寄贈され、現在は「高崎市地域活性化センター」として、市街地の文化の活動拠点になっています。また、映画館としても営業を再開し、邦画の旧作を中心に上映していますが、群馬交響楽団の創立80周年にあたる今年は群響の定期演奏会の日に合わせて、【ウ】の毎月上映を行っています。

- ア（１）オリオン座 （２）高崎ピカデリー
（３）高盛座 （４）高崎電気館

〔正解 ４〕

- イ（１）柳川町 （２）宮元町 （３）鞆町 （４）高松町

〔正解 １〕

- ウ（１）題名のない音楽会 （２）ここに泉あり
（３）眠る男 （４）森とオーケストラ

〔正解 ２〕

●解説

高崎初の常設映画館として、1913（大正2）年、柳川町に高崎電気館（当時の名称は電気館）が開業しました。木造モルタル塗りの2階建てで、活動写真が上映され、連日立ち見が出るほど活況を呈しました。1929（昭和4）年8月、火災により焼失してしまいましたが、同年12月には鉄筋コンクリート3階建ての新館が竣工し、モダンな外観と充実した設備で注目を集め、それまで以上に多くの人が足を運び、活況を呈しました。

1966年に再度建て替えが行われ、それが現在の高崎電気館です。鉄筋コンクリート造、地下1階・地上4階に生まれ変わった映画館はこの時、群馬県唯一の大映の直営館として、高崎大映電気館と名称を変更しました。高い天井とスタジアム形式の座席の配置が新たな話題となりました。『ガメラ』や『大魔神』シリーズなどの特撮ものも上映され、大人だけ

でなく、多くの子どもたちが押し寄せました。

その後、高崎松竹電気館となり、さらに現在の高崎電気館と名称を変えましたが、映画産業の不振により、2001年休館となりました。2014年、高崎電気館は市に寄贈され、「高崎市地域活性化センター」として市街の文化の活動拠点になっています。建物には座席256席の映画館、地域活性化センターのほか、高崎映画祭、高崎フィルムコミッションの事務局が置かれ、高崎における映画文化の拠点となっています。

問 3 6

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

昭和初期の高崎市において代表される災害が【ア】による水害です。この災害では、群馬県内の死者が200人を超えるなど各地に大きな被害が出ました。

この年の9月24日、台風が九州の東方海上に進み、西日本一帯が暴風雨区域となります。翌25日午前6時、北東へ進路変更した台風は岡山県付近で勢力が衰えますが、前線が刺激され、群馬県も豪雨となりました。折しも当日は【イ】で、県内各地は大混乱に陥ります。

やがて風雨が弱まり、25日午後8時には「気象特報」が解除されますが、夏以来の長雨で地盤が緩み、各地では山崩れが起って河川の堤防が決壊しました。この水害により高崎市をはじめ県内は大きな被害をうけました。

- ア (1) 1934 (昭和9) 年9月の台風 (室戸台風)
(2) 1935 (昭和10) 年9月の台風
(3) 1948 (昭和23) 年9月の台風 (アイオン台風)
(4) 1954 (昭和29) 年9月の台風15号 (洞爺丸台風)

[正解 2]

- イ (1) 日本鉄道高崎駅開業式
(2) 白衣観音開眼式
(3) 群馬県会議員選挙投票日
(4) 高崎市と塚沢村・片岡村合併式

[正解 3]

●解説

1935（昭和10）年9月16日正午にサイパン島に台風が発生、当初は関東地方を直撃する進路から離れていたため、中央气象台は暴風警報等を出しませんでした。関東地方に大きな被害を出した1910（明治43）年の大水害から25年が経過していました。1935年は夏から長雨が続き、同年9月25日、群馬県全域は上記の台風と、前線の活発な活動で豪雨となります。その夜、風雨はおさまりますが、各地で山崩れが起こりはじめました。日付が変わって26日午前1時には高崎市内で警鐘が乱打され、同日午前2時には碓氷川・烏川の氾濫が始まります。濁流は建物・田畑を襲い、高崎地方をはじめ群馬県内は大きな被害を受けました。

なお、選択肢の台風について、全国的に知られる室戸台風・アイオン台風・洞爺丸台風においては、群馬県内に死者は出ていません。

また、日本鉄道高崎駅開業式は1884（明治17）年、白衣観音開眼式は1936（昭和11）年、高崎市と塚沢村・片岡村の合併は1927（昭和2）年の出来事でした。

問37

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1895（明治28）年3月、高崎の商業者23人が【ア】に集まり、商業会議所の創立協議会が開催されました。同年11月18日の総会で創立され、県下では初めて、関東でも早い設立でした。1896（明治29）年2月の臨時総会で初代会頭に【イ】が選出されました。

第二次世界大戦中は商工経済会として戦時統制が強化されましたが、戦後、高崎の商工業者は【ウ】を全国に訴え、地方独自の会議所設立の方向が全国に拡大しました。

- ア（1）田町の絹市場 （2）八島町の高盛座
 （3）通町の安国寺 （4）宮元町の高崎市役所

〔正解 1〕

- イ（1）矢島八郎 （2）中島伊平 （3）小島弥平 （4）須藤清七

〔正解 2〕

- ウ (1) 都道府県単位による大規模な会議所
- (2) 都市単位の民主的な会議所
- (3) 強制加入で資金力を持った会議所
- (4) 法制化によらない任意団体としての会議所

[正解 2]

●解説

1890 (明治23) 年に商工会議所条例が公布、1895 (明治28) 年に一部改正され、全国の主要都市で商業会議所の気運が高まりました。高崎商業会議所は県下の先頭を切って1895 (明治28年) に設立され、2025年に130周年を迎えました。

1895 (明治28) 年3月、田町の絹太織^{きぬふとり}同業組合事務所 (高崎絹市場) に有力な実業者23人が集まり、高崎商業会議所の創立協議会が開かれました。5月に設立を申請、8月に認可を受け、11月18日に会員総会が開かれ、翌1896 (明治29) 年の臨時総会で中島伊平・初代会頭を選出しました。

第二次世界大戦下の統制経済強化で、国策協力のための「商工経済会法」が施行され、高崎商工会議所は解散し、商工経済会が置かれ高崎は支部となりました。

1945 (昭和20) 年8月に終戦を迎え、商工経済会高崎支部の石坂実支部長は市内の実業人を集め、県単位の会議所は「戦争中の官僚的、独善的支配を温存し、地方産業人の自由な言論を抑圧するものだ」とし、自由に設立できる民主的会議所の独立を求める決議を行いました。高崎から上がった会議所独立運動は県内、全国へと広がりました。翌年2月に関東各県の代表が高崎に集まり、期成同盟を結成、関西でも組織化が進み、日本の東西で猛運動が展開されました。

1946年10月1日、法人221、個人255の会員が加入して設立総会を開き、10月31日、社団法人高崎商工会議所が設立されました。また、1950年には商工会議所法が施行されています。

問 38

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

新町地域では1969年から3年間、総理府の体力づくり国民運動推進事業の指定を受け、町を挙げて、歩くことを通した体力づくりに取り組みました。

その後、「新町歩く会」が発足し、1978年、新町を拠点に、日本で初めて【ア】が開催されました。このことを記念して、【イ】が温井川を渡る場所に、発祥の地記念碑が建てられました。

- ア (1) 全日本スリーデーズマーチ
(2) 中山道歩こう大会
(3) 全国ビッグハイクフェスタ
(4) 日本ウォーキングフェスティバル

〔正解 1〕

- イ (1) 佐渡奉行街道 (2) 例幣使道
(3) 中山道 (4) 姫街道

〔正解 3〕

●解説

新町地域では1969年から3年間、総理府(2001年に省庁再編により内閣府に統合)の体力づくり国民運動推進事業の指定を受け、町を挙げて、歩くことを通した体力づくりに取り組みました。指定を受けていた3年間、夏期の1週間を「歩け歩け週間」とし、毎朝6時、新町役場からスタートして、烏川土手の4キロメートルのコースを歩きました。

1972年には「新町歩く会」が発足し、諸外国の行事に代表を派遣して、国際交流を深める中、翌1973年、全国の同行の仲間呼びかけ、新町を拠点に、日本で初めて全日本スリーデーズマーチが開催されました。現在、この催しは「日本スリーデーズマーチ」と名称を変え、埼玉県東松山市に主会場を移し、我が国最大のウォーキングイベントとして行われています。

日本歩け歩け協会により、1984年、中山道が温井川を渡る場所(弁財天を祀る公園隣)に歩け歩け運動発祥を記念する碑が建てられました。

問 39

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

J R 高崎駅の新幹線ホームでは、高崎市出身のロックミュージシャン【ア】が作曲した「さらば青春の光」のメロディーが2021年から発車のたびに聞こえて「ロックの街・高崎」をアピールしています。

また「ロックの街」を象徴する【イ】が6月に「高崎芸術劇場」「Gメッセ群馬」「高崎アリーナ」そして高崎駅周辺を会場に開催されました。

ア (1) ^{まついつねまつ}松井常松 (2) ^{ひむろきょうすけ}氷室京介 (3) ^{ほていともやす}布袋寅泰 (4) ^{しみずいより}清水依与吏
〔正解 3〕

イ (1) 高崎シティロック天国 (2) 高崎ロックカーニバル
(3) 高崎キングオブロック (4) 高崎シティロックフェス
〔正解 4〕

●解説

2025年6月28日、大型ロックフェス「タカサキシティロックフェス」が、高崎市内の3会場（高崎芸術劇場、Gメッセ群馬、高崎アリーナ）で開かれ、ミュージシャンのライブ演奏が行われました。Gメッセ群馬と高崎芸術劇場ではアーティスト計15組が出演しロックの熱演が繰り広げられたと新聞でも報じられました。

近年の高崎は「パスタの街」に加え「ロックの街・高崎」もアピールしています。J R 高崎駅の新幹線ホームでは、高崎市出身のロックミュージシャンの布袋寅泰氏の楽曲が2021年7月3日から発車メロディーに使用されています。東京行きの上りホーム(13・14番線)で流れているのが「Gメッセ群馬」のテーマ曲「Great Messenger」、下りホーム(11・12番線)で流れているのが1993年のヒット曲「さらば青春の光」です。いずれも発車のたびにワンコーラス分(約20秒間)スピーカーを通じて流されています。

問40

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

2024年10月、ノーベル文学賞受賞者を予想するイギリスの大手ブックメーカーのサイトに【ア】が日本人では村上春樹とともにランクインしました。結果としてノーベル文学賞を受賞した韓国のハン・ガン氏よりも上位にいたことは新聞でも大きな記事になりました。

【ア】は1947年高崎市に生まれ、高崎女子高校卒業後、19歳で発表した【イ】が太宰治賞候補となり話題を呼びました。「プラトンの恋愛」で泉鏡花文学賞を受賞し、その他にも英訳された作品が海外でも高く評価されています。

ア (1) ^{はぎわらようこ}萩原葉子 (2) ^{いとやまあきこ}糸山秋子 (3) ^{あべちさと}阿部智里 (4) ^{かないみえこ}金井美恵子
〔正解 4〕

イ (1) 『愛の生活』 (2) 『イツ・オンリー・トーク』
(3) 『鳥に ^{ひとえ} 単は似合わない』 (4) 『天上の花』
〔正解 1〕

●解説

2024年10月初旬、ノーベル文学賞を予想するイギリスの大手ブックメーカーのサイトに金井美恵子さん(高崎市出身)の名前が挙がりました。それによると、日本人では2位の村上春樹氏に次いでランクインしました。結果として、この年のノーベル文学賞の受賞者となった韓国のハン・ガン氏よりも上位にいたと新聞で報じられています。

金井さんは1947年11月3日生まれで、高崎市立東小学校から高崎市立第二中学校、群馬県立高崎女子高校を卒業しました。19歳でデビュー作の『愛の生活』が太宰治賞の最終候補となり賞賛を受けます。その後『プラトンの恋愛』で泉鏡花文学賞を受賞します。その他にも英訳された作品が海外でも高く評価されています。

問41

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

今年6月、テレビ東京系列で、【ア】から下山した主人公が麓の食堂でわかさぎフリッターや高崎名産の小麦粉を使用したうどんを堪能する「下山メシ」というグルメドラマが放送されました。

本作は昨年放送された「【イ】」に続くもので、これらの作品を通して、高崎の様々なグルメが全国に発信されました。

ア (1) 榛名富士 (2) 赤城山 (3) 谷川岳 (4) 妙義山
〔正解 1〕

イ (1) 農家のミカタ (2) 満腹レストラン
(3) 孤独のグルメ (4) こむぎの満腹記
〔正解 4〕

●解説

2025年6月、テレビ東京系列で、「山」×「飯」のグルメドラマ「下山メシ」特別編が高崎編として放送されました。ドラマでは、榛名富士から下山した志田未来さんが演じる主人公が麓の食堂でわかさぎフリッターや高崎名産の小麦粉を使用したうどんを堪能しました。また、最後は高崎産のフルーツをたっぷり使用したパフェとパンケーキを平らげるなど、高崎の様々なグルメが紹介されました。

本作は2023年に放送された原菜乃華さんが演じる小麦料理をこよなく愛する女子大生が高崎のグルメを食べ歩く「こむぎの満腹記」に続くものです。「こむぎの満腹記」では2夜にわたり、市内の観光スポットとともに焼きまんじゅう、オランダコロケ、みそバンズパン、各種のパスタなどが紹介されました。

高崎学検定委員会